

11月定例 市議会

税金の使い道、行政サービス は市民の利益最優先に

日本共産党 静岡市議会議員団 ニュース

2009—No.10

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス <http://www.jcps.jp/yksf5@jcps.jp>
メール

12月定例会会議日程

- 会期 11/30～12/21 (22日間)
会場 静岡庁舎本館
○本会議 11/30(月) 午前10時より
○総括質問〔3日間〕午前10時より
12/9(水)～12/11(金)
○常任委員会
12/14(月) 午前10時より
総務委員会、上下水道教育委員会、生活文化環境委員会
12/15(火) 午前10時より
厚生委員会、経済消防防災委員会、都市建設委員会
○本会議 12/21(月) 10時より

11月30日から12月21日まで、11月定例市議会が開かれます。

主な議案は、一般市職員(教育職員ふくむ)と議員や市長など特別職について一時金0.35月など給与引き下げ(一般職員ひとりあたり20万円減)議案のほか、補正予算議案では、生活保護の母子加算復活に2200万円、国の経済対策補正の活用として「建物の省エネ化」促進に1400万円や茶工場整備・森林整備に6600万円、不足する医師の特殊勤務手当の増額に600万円、8月の地震で被害を受けた久能山東照宮の石垣復旧に400万円など、合計1億2000万円が提案されています。

その他では、住基カードの利用拡大、地方税滞納整理機構規約の改定、麻機地域の住居表示、尾羽地区畑総による字区域変更、宝くじ発売限度額設定などに関する議案が提案されています。

党市議団は、税金の使い道、行政サービスが市民の利益に合致しているかどうか、市民の目線で審議します。

市職員給与引き下げは消費落ち込み、民間賃金引き下げへの悪循環

市職員給与引き下げ議案に反対

本会議初日提案された市職員と教職員給与引き下げ議案については、党議員団は、民間賃金のさらなる引き下げを呼びこみ、消費を冷え込ませ、地域経済に悪循環をもたらす恐れがあるとの理由から反対しました。

市長、議員などの一時金減額については賛成しました。

ごみ分別収集 徳島・上勝町を視察

訪ねた日比ヶ谷ごみステーションでは、ごみ減量とリサイクルの観点から、34種類に分別収集。紙は段ボール、新聞紙、普通紙、厚紙、牛乳パックとリサイクル業者ごとに分別する徹底ぶりが34種類にまでなったということでした。

生ごみは処理機を町が6万円のうち5万円を補助し、各家庭に配置されています。

結局最終的に廃棄するのは、ごみのうち2割。「やればできる」これが実感でした。



身体障害者福祉施設と懇談

党市議団は、身体障害者施設を訪問し、解決すべき課題について懇談しました。

利用者は応益負担によって昼食を抜いてやり繰りし、職員は腰痛で退職に迫られるという実態です。緊急に利用者負担軽減、事業所報酬引き上げと職員の待遇改善が必要です。

障害者自立支援法を一日も早く廃止し、人間らしく生きるための新たな法制度が求められます。



11月定例会の質問

日時 12月9日から11日
午前10時より

会場 静岡市庁舎・本会議場



鈴木せつ子 議員
12月9日(水)午後
○市職員の定員管理計画の問題について



寺尾 昭 議員
12月10日(木)
○市民サービス向上と職員の役割について



山本明久 議員
12月11日(金)
○第2次総合計画案について



内田りゅうすけ 議員
12月11日(金)
○松枯れ対策について
○平和行政について

※右記の日は予定です。詳しい日時は事務局にお問い合わせ下さい。